

がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会の 開催について

がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会の開催について

開催の趣旨等

- ゲノム情報を解析し最新の医学的知見に基づいて個人の状態により合わせた診療を行うがんゲノム医療を実現するためには、ゲノム情報を効果的に集積し、診療や新たな医薬品等の開発に利活用する仕組みを構築する必要がある。
- 国内の医療従事者や研究者の力を結集し、最新のがんゲノム医療を国民に提供する仕組みを構築するために必要な機能や役割を検討し、がんゲノム医療の提供体制の具体的な進め方を検討するため、「がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会」を開催する。

構成員

天野 慎介	全国がん患者団体連合会	中西 洋一	九州大学大学院医学研究呼吸器内科学分野
五十嵐 隆	国立成育医療研究センター	西田 俊朗	国立がん研究センター中央病院
加藤 和人	大阪大学大学院医学系研究科	◎ 間野 博行	国立がん研究センター研究所
北川 雄光	慶應義塾大学医学部外科学	宮園 浩平	東京大学大学院医学系研究科
杉山 将	理化学研究所 革新知能統合研究センター 東京大学東京大学大学院新領域創成科学研究科	○ 宮野 悟	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター
直江 知樹	名古屋医療センター	山口 俊晴	がん研有明病院

◎：座長
○：副座長

がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会の位置づけ（案）

2015.7

2016.10

2017.1

2017.3

2017.6

ICTの観点

保健医療分野におけるICT
活用推進懇談会

データヘルス時代
の質の高い医療の実現
に向けた有識者検討会

データヘルス改革推進本部

情報共有・連携

がんゲノム医療推進
コンソーシアム懇談会

がんゲノム医療提供体制の具体的な進め方

- がんゲノム医療提供体制の考え方
- 必要な機能と役割分担
- 段階的整備の考え方

制度的検討

がんゲノム医療を推進するために必要な制度について検討

- NGSパネルの導入
- 医薬品の適応拡大
- 全ゲノム解析推進 等

がん対策推進基本計画の検討

政府全体の計画

がんゲノム医療
推進計画

がん対策推進
基本計画

ゲノムの観点

中間とりまとめ
ゲノム医療実現推進協議会

実用化推進タスクフォース
ゲノム情報を用いた医療等の